

企画の内容について

「宇宙のたね大実験ミッション2009」という、ベネッセコーポレーションからの案内が有って、「夢の宇宙種」を栽培してみませんか？・・・という話に惹かれた。「夢の種」は、日本人宇宙飛行士によって「月」と「地球」を往復したとのことでした。教頭先生からの「申し込んでみたらどうですか？」の言葉に背中を押されて早速申し込み。子どもの学習にプラスになればと種をまき毎日の水やりの甲斐があつて10月6日に播いたものが10月13日（一週間後）に見事に発芽した。その後すべての種に芽が出た。

当初の様子について

気温が20度を超す日々が続く順調に成長し次から次と葉が開き、児童には気がついたらメモ書きできるようにと「観察日記」を用意した。数名のメモ書きもあつて日々の成長を楽しみに理科室を訪れる児童も増え、掃除のときなどには霧吹き等を使っての水やりの世話もしてくれるようになった。

現在の状況報告

11月、12月の寒さを乗り越えて1月に入って次から次へと

「葉」が伸びてきた。2月に入って元気に成長しているのは、残念ながら6個のポットの中で2つのポットのシロイヌナズナが「存在」を鼓舞するように大きな葉をこれでもかと言わんばかりに広げている。

2月に入って、新たに2つのポットに再チャレンジで児童に種をまいてもらった。

今後、温かさが続くことが考えられます。再チャレンジの種も見事に本日（2月8日）芽が出ていることを確認できました。

今後、両方の「シロイヌナズナ」が元気に育ってくれることを願って児童とともに見守っていきたいと考えています。

若田光一さんとともに宇宙に8か月滞在した「夢の種」です。

応援をお願いします。

学校にこられた時には「理科室」へぜひ寄っていただきたいと思います。

